

## 再評価結果（令和5年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・技術課  
 担当課長名：長谷川 朋弘

事業名	地高 I C アクセス 一般国道 304 号 <small>しみずだに</small> 清水谷バイパス	事業区分	一般国道	事業主体	石川県
起終点	自：石川県 <small>かなざわ</small> 金沢市 <small>ふるやだにまち</small> 古屋谷町 至：石川県 <small>かなざわ</small> 金沢市 <small>しみずだにまち</small> 清水谷町			延長	1.5 km
事業概要					
一般国道 304 号は、金沢市と富山県南砺市を結ぶ幹線道路であり、地域高規格道路金沢外環状道路（山側幹線）の月浦 I C と金沢テクノパーク・金沢森本インター工業団地の物流センターを結ぶ一次アクセス道路である。当該区間において、バイパス整備による狭隘箇所・急カーブといった交通のボトルネックを解消し、I C アクセス向上により物流の効率化を図る。					
H27年度事業化	都市計画決定なし		H28年度用地着手	H29年度工事着手	
全体事業費	約 3.7 億円	事業進捗率	約 87%	供用済延長	— km
計画交通量	3,500 台/日				
費用対効果	B/C	総費用	総便益	基準年	
	(事業全体) 1.02	(残事業)/(事業全体) 8.4/41 億円	(残事業)/(事業全体) 42/42 億円	令和 4 年	
	(残事業) 5.1	事業費：7.1/40 億円 維持管理費：1.2/1.2 億円	走行時間短縮便益：38/38 億円 走行経費減少便益：3.3/3.3 億円 交通事故減少便益：1.1/1.1 億円		
感度分析の結果					
(事業全体) 交通量：B/C= — (交通量±10%) (残事業) 交通量：B/C= — (交通量±10%) 事業費：B/C= — (事業費±10%) 事業費：B/C= — (事業費±10%) 事業期間：B/C= — (事業期間±20%) 事業期間：B/C= — (事業期間±20%)					
事業の効果等					
①安全・安心な交通の確保 通過交通を排除することによる地域住民の安全・安心の確保 ②緊急輸送道路としての機能強化 災害や除雪等による北陸自動車道及び国道 8 号通行止め時の代替路としての機能強化に寄与 ③広域交流の拡大 北陸自動車道福光 I C 等へのアクセス向上により観光交流の拡大、物流の効率化					
関係する地方公共団体等の意見					
・一般国道 304 号道路整備促進期成同盟会（会長：富山県南砺市長、副会長：石川県金沢市長、岐阜県白川村長）等から本事業の早期完成の要望活動が行われている。					
事業評価監視委員会の意見					
事業継続を妥当と認める。					
事業採択時より再評価実施までの周辺環境変化等					
・国道 304 号沿線の金沢テクノパークや金沢森本インター工業団地において多数の企業が進出し、国道 304 号の交通量が増加。(H22) 3,100 台/日 ⇒ (H31) 3,300 台/日 ・平成 29 年 12 月に金沢外環状道路山側幹線の東長江 I C ～神谷内 I C 間の 4 車線化が完成。					
事業の進捗状況、残事業の内容等					
用地取得率 100%、事業進捗率約 87%					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等					
用地の取得が完了しており、令和 5 年度の完成を目指し、道路改良工事、舗装工事を推進していく。					
施設の構造や工法の変更等					
複数の工事用道路の確保により、施工の効率化、運搬費の低減を図っている。					
対応方針					
事業継続					
対応方針決定の理由					
事業の必要性、重要性は変化なく、費用対効果の投資効果も確保されているため。					

## 事業概要図



- ※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価値を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
- ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳と一致しないことがある。